

第 42 回日本地区熊本大会

議長 日本地区ガバナー 佐藤嘉昭

司会進行 事務総長 伊藤一實

日時：2018年9月7日（金）13:00～15:00

場所：ANA クラウンプラザホテル熊本ニュースカイ 2階「ストリングス」



1. **開会** 規約に則り、佐藤ガバナーが議長となり、開会が宣言された。
2. **国歌演奏** 全員起立の下、台湾、マレーシア、日本の順で国歌が演奏された。以降、事務総長が司会進行を務める旨発言した後、総会が開始された。

3. 挨拶

- (1) **佐藤ガバナー挨拶** 議長がガバナーとして要旨次のような挨拶を行った。

- 熊本クラブに対する謝意。ジョージ国際理事、シン KCF 会長の出席に対する謝意。
- 各ディビジョンを回り、それぞれ活発な活動を展開されていることが良く分かった。
- クラブの新設、会員数の増強に力を入れてきたが、クラブは 3～5 の新設が目標であったところ、2クラブの新設となった。SLP も 3 つが加わり合計で 8 つとなった。
- 5月に鹿児島で行われた JC の ASPAC 大会に出席してきた。JC とはパートナーシップ協定が締結され、キワニスの存在が理解されつつある。今後 JC との連携を深めてまいりたい。



(2) ジョージ・チアン・チュー・チン国際理事挨拶



- 日本と台湾は、親密な関係を築き、交流を行ってきた。2018-2019年度日本の担当役員として務めることに大きな喜びを感じている。
- キワニス ASPAC は、安定した発展を遂げているが、中でも日本地区は大きな影響を与えている。2018-2019年度は、4つのIで始まる戦略計画に基づく活動を期待している。すなわち

- ・ Inspire (インスパイア) 多くの人を鼓舞し、会員になってもらうこと。
- ・ Impact (インパクト) 奉仕プロジェクトを通じてキワニスのインパクトを広めること。
- ・ Image (イメージ) キワニスの広報に努めること。
- ・ Investment (インベストメント) 財源を確保し経営力を向上させるだけでなく、KCFへの資金提供も奨励すること

(3) フアン・チア・シン KCF 会長挨拶

- 昨年は KCF 会長として松江大会に出席したが、ジョン・メイフィールド会長が急逝され、引き続き会長を務めることとなった。
- 日本地区は、エリミネイト・プロジェクトの目標達成に貢献され、今年の7月31日までにプレッジを100%達成された。昨年フィリピンやケニヤで妊産婦・新生児破傷風が撲滅されたが、なお14の国で危機にさらされている。こうした人々がいる限り闘い続ける。
- 6月30日現在、日本は2017-2018年度のアニュアル・ギビングの資金調達目標を達成した4つの地区の1つになった。会員1人当たりの寄付額も世界で第2位。
- KCFは、これからも資金調達に努め助成プログラムを改善し、キワニアンが助けを必要としている子ども達に手を差し伸べる手助けをしてまいりたい。



4. 議事



議長の確認指示により、伊藤事務総長からクラブ総数35に対して、札幌クラブが欠席となったが、規約に定める定足数3分の1を超えているので会議として有効に成立している旨報告があった。

第1号議案 2018-2019年度事業計画及び予算案の件

吉田次期ガバナーが事業計画を、伊藤事務総長が予算案をそれぞれ説明、異議なく承認された。

第2号議案 2018-2019年度役員・監事の選任の件

2018-2019年度のガバナーは吉田浩二氏が唯一の候補となっている。また2018-2019年度の次期ガバナーは、大阪クラブの岸本光正氏のみから届け出がなされており、岸本氏が候補者1名であることから投票不要。監事は横浜クラブの原進氏、事務総長は東京クラブの杉田健氏で、それぞれ異議なく承認された。

また副ガバナー、日本地区委員長、委員が報告された。

第3号議案 熊本大会決議（案）の件

議長から、熊本大会決議案が読み上げられ、異議なく承認された。

第4号議案 第44回日本地区総会開催地の件

第44回日本地区開催地を金沢クラブとすることが承認された。

5. 報告事項

(1) 2017-2018年度事業経過報告及び決算見込みについて

伊藤事務総長から、2017-2018年度の事業経過と決算見込みが報告された。なお最終報告は、10月の役員会で審議される。

(2) 2021年ASPAC仙台大会の開催決定について

2021年ASPAC仙台大会について、加藤仙台クラブ会長から報告があった。

(3) キワニス日本財団（KJF）からの報告

藤原 KJF 理事長から、2018-2019年度の事業計画及び予算案について説明があった。また新たにパンフレットを作成したので、活用されたいこと、クラブ特定目的事業について、内閣府から疑義を呈せられており現在協議中であること、2018-2019年度の管理費を賄うため各クラブから、1人当たり年間1,500円の寄付を要請することが補足された。

(4) エリミネイト・プロジェクトについて

北里国際理事から、エリミネイト・プロジェクトの説明があった。

(5) 第43回日本地区年次総会の開催地静岡の竹内会長から、挨拶がなされた。

(6) キワニスソング「子どもに夢を」を出席者全員で唱和した。

6. 閉会

最後に意見、質問を求めたが、格別の発言もなかったため、議長が閉会を宣言した。

なおこの後、各種表彰式が行われ、個人、団体に対して表彰状、副賞が授与された。

(事務総長 伊藤一實)

